



NO. 878
 発行 2016年4月30日
 国鉄労働組合新潟地方本部
 発行責任者 上石 昌彦
 編集責任者 教 宣 部

帝京長岡の不当処分に対し 県労委提訴へ

私学争議団支援共闘・会議開く

にいがた私学争議団支援共闘会議は、帝京長岡高校・吉田先生に出された、不当処分(けん責・謹慎)に対する支援の取り組みについて、役員会を4月21日18時30分より私学会館で開催しました。

現在調査を実施

新潟県労働委員会へ2015年10月16日に提訴し、現在3回の調査が実施され、第4回調査が4月27日・第5回調査が6月1日に予定されています。



事件の経過

バレー部監督を外される

○2014年3月に部活動の指導をめぐって吉田先生に一部の保護者からクレームがあった。(吉田先生はバレー部の監督)

○そのことで職員会議で、吉田先生は監督を外され、部活動から距離を置くことになる。

○9月22日に学園側弁護士から、部活・生徒の指導の件で聴取が行われる。

○弁護士に居る場で、弁明書の署名・捺印を強制され署名・捺印する。組合は弁明書を理由に処分しないこと・部活動を含む教育活動に不利な処遇をしないこと・を求める申入れ書を提出した。

地本組織拡大 経験交流集会の開催

6月18日(土)
地本事務所



○10月16日、学園から回答・吉田教諭の処分は懲罰委員会審査し決定する。申入れ書で、吉田教諭が組合員であることの通知をもらったと受け止める。

なぜ反協力的組織に入ったのか?

○教頭は、吉田先生に対し不当労働行為発言「なぜ学園の反協力的組織に入ったのか?」など多数発言している。

○10月23日、組合は申入れ書を提出。校長は処分しないと明言したにもかかわらず、10月16日付回答書では「処分しないことを約束していない」など、組合員を理由に不利益扱い・不当労働行為。



●役員会での全体の意見

○帝京長岡高校は、全クラス数が約30クラスなのに正規の先生が40名・常勤、非常勤講師が約20名で全体で60名くらい。

私教連が考える基準はクラス数×2先生数と考えている。帝京長岡は先生の数が足りない。

○特待生に対して財政的な負担が大きい。以前、ある私立の高校で特待制度があったが年間・9千万円くらいかかっていた。



帝京の場合は、2億円近くかかっているのではないかと。それで先生の数減らし正規の先生の数が極めて少なくなっている。生徒(特待生)が校長の言いなりになっている。労働委員会で嘘の証言をさせている。特待生の弱点か。生徒は嘘の内容を書かされている。学園の財政については、校長の独断で決定されている。





○帝京長岡高校の現状について

特待生の制度に問題がある。財政的負担が大きく、それによって人件費が削減され先生の数が極めて少ない。

良好な教育環境になっていない。先生の賃金・手当が大幅に削減されている。

特待生の立場が弱い。学校・校長の言いなりになっている。生徒が嘘をつくような状況が発生している。この教育環境を改善させなければならぬ。

スポーツ特待生は現在70名。スポーツの強い学校だ。強化選手を海外まで行って入学させている。



今後の具体的な取り組み

○宣伝用のチラシ・署名用紙の作成

5月中旬までに作成する

○各単産・単組へのオルグを実施

チラシ・署名用紙作成後各労働組合へオルグを実施する

○総決起集会の開催について

決起集会を開催し訴え運動を広げていく日程は8月以降、参議院選挙が終了してから取り組む



○労働委員会へは「バレー部の顧問に戻すこと」で提訴した。



当面する日程について

- 5月1日(日) 第87回メーデー
- 5月21日(土) 国労結成70年記念講演とレセプション
- 5月26日～27日 国労東日本野球大会
- 6月5日～6日 全国組織拡大経験交流集会
- 6月14日～15日 東日本運輸協議会交流会 新潟開催
- 6月18日(土) 地本組織拡大経験交流集会
- 6月24日(金) トキめき鉄道検証会議



編集後記

4月も下旬になりました。桜が咲いて、これからは新緑の季節になります。山菜のシーズンですね。桜は見に行きましたか？桜が咲く時期は風が強くて満開の頃になると風が強くなります。

4月、5月、6月と日程が多くなってきました。今年のメーデーは統一メーデーが実現します。そして新潟でも参議院選挙には野党共闘が実現します。これから統一行動がますます大きくなっていきます。多くの組合員の参加をお願いします。



6月18日(土)に地本主催・組織拡大経験交流集会を開催します。今回は仙台地本の方々と交流を深めます。仙台地本の組織拡大の取り組みを学び、交流を深めたいと決意をしています。多くの組合員の参加をお願いします。